

# 【講義と演習①】 就労支援の実施方法 I

新保美香(明治学院大学)

# この講義（演習）の目的

- ①前期研修の振り返り。
- ②生活困窮者自立支援制度における就労支援の内容の確認。
- ③後期研修の目的（5つのポイント）の理解。
- ④「支援を育てる」事例の確認と共有。

# 1. チームづくり

- ◆ 同じテーブルに着席している3名で、自己紹介をしてください。お一人1分間をお願いします。

## <自己紹介の内容>

### (1) 所属とお名前

(〇〇で有名な、〇〇自治体の...で始めてください。)

### (2) 年末までにやらなくては！と思うこと。

## 2. 前期研修からこれを振り返って...

(1)前期研修を終えて、あなたが職場に戻って取り組んだことはどのようなことでしたか？

## 2. 前期研修からこれを振り返って...

(2) (1)をふまえて、後期研修で学びたいことは、  
どのようなことですか？

## 2. 前期研修からこれを 振り返って...

(1)(2)に書いたことを、チームでわかちあってください。

→ お一人2分間で報告してください。

# <就労支援の意義と就労支援>

(テキスト228頁)

- ①就労支援は、「就労」という人間にとって かけがえのない営みをそれぞれの状況に即して実現できるように支援すること。
- ②収入を得るばかりでなく、社会とのつながりを構築し、自己実現をはかる大切な意義を持つ。
- ③「有給労働」と「無給労働」がある。
- ④就労(勤労)が「権利」であることに着目。
- ⑤ジョブマッチングに止まらない、生活や人生を豊かにする重要な取り組み。

# <就労支援の心構えとポイント>

(テキスト236～238頁)

- ①本人の自尊心の回復が鍵。
- ②ステップアップを考える。
- ③共感的な姿勢での支援。
- ④強み・力・よいところ(ストレングス)への着目。
- ⑤支援対象者から学び、支援対象者の「声」を生かした支援。



# 3. 生活困窮者自立支援制度における就労支援(確認)

## 生活困窮者自立支援制度における就労支援

生活困窮者の多くは、多様で複合的な課題を抱え、自尊感情や自己有用感を喪失している。  
このため、本制度における就労支援は、常に本人を起点とし、

- ・ 就労の意義への理解の支援から、生活面や福祉面での支援までも含めた、包括的な支援の一環として展開する。
  - ・ 本人の状態に合わせ、必要に応じてステップアップも意識しながら支援する。
- ⇒ 就労支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践する。

“きちんと”

### 丁寧な相談支援

- ・ 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- ・ 信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援
- ・ ストレngthsに着目した支援
- ・ 就労意欲の喚起

“みんなで”

### チームによる支援

- ・ 主任相談支援員、相談支援員との協働
- ・ 就労準備支援事業等の活用
- ・ ハローワークその他の関係機関・者との協働

“ずっと”

### 切れ目のない支援

- ・ アウトリーチによる発見・支援
- ・ 多様なプログラムの用意
- ・ 個別のニーズに応じた職業紹介
- ・ 定着支援と企業支援

“つながる・つくる”

### 社会資源の活用と開発

- ・ 関係機関・者のネットワークの構築
- ・ 企業との関係づくり
- ・ 中間的就労や実習場所等の開拓
- ・ 居場所づくり
- ・ 町おこし、地域づくり

# 確認してみよう

- ① **資料1**「生活困窮者自立支援制度における  
就労支援」(厚生労働省資料を研修用に改変)  
を用いて、就労支援員が取り組む就労支援の  
内容を確認してみましよう。
- ② 「きちんと・みんなで・ずっと・つながる・つくる」  
それぞれの項目を確認してください。
- ③ 項目をチェックしてみましよう。  
取り組んでいる → ○  
これから取り組みたい → △  
特に重点的に取り組みたい → ☆

## 4. 後期研修の目的(5つのポイント)

→以下を理解し、実践するための知識・技術の習得を目指します。

- (1)生活困窮者は、多様で複合的な課題を抱えているため、生活面や福祉面での対応も含め、包括的な支援を行う中で就労支援を実施すること。
- (2)本人の自尊感情の回復が支援の鍵となることを理解し、共感的な姿勢で支援を行うこと。
- (3)本人のステップアップを考え、多様なアプローチをとること。
- (4)本人の力、強み(ストレングス)に着目した支援を行うこと。
- (5)就労支援の成果を挙げるためには「出口」の整備が必要であること。  
各種団体や企業にアプローチし、一般就労、就労訓練事業、就労体験先を開拓し、「地域づくり」を推進すること。

## 4. 後期研修の目的(5つのポイント) ～「ストレングス視点」について～

- (1) スtrenグス視点とは、支援対象者のもつ強み、力、よいところ、努力などに着目する視点のことをさします。
- (2) 自立支援、就労支援においては、支援対象者の「いいところ探し」を積極的に行い、そこで見いだした強さやよいところを支援対象者に伝えるとともに、支援に活かしていくことが求められています。
- (3) 「問題点・できないところ」ばかりを指摘されたときに、人は、物事に前向きに取り組む力を失っていきます。それが続くと、自尊心を失ってしまいます。

## 4. 後期研修の目的(5つのポイント) ～「ストレングス視点」について～

- (4) また、弱っている時に人は自分のよいところが見えなくなりがちです。
- (5) 自分のよいところを認めてもらい、がんばっていることに対して共感的に受けとめてもらえることで、人は物事をポジティブに捉え、前進していく力が与えられます。
- (6) このことは、支援対象者だけでなく、支援者も含めだれにもあてはまることです。自分自身や同僚のストレングスを見出すことも大切にしてください。

<参考文献>「自立支援に関する研修の手引き」(厚生労働省保護課 平成21年) 87頁。

# <ワーク: ストレングスを探そう! >

- ◆ 以下の事例から、Bさんのストレングス(個人・環境)をできるだけたくさん見つけてください。(5分間ゲーム!)

## <Bさん(男性 50歳 単身世帯)>

スナックを経営していた。店を3件経営していた時代もあったが、不景気によりうまくいかなくなり借金を重ねた。この頃よりパチンコ・酒で気を紛らわす生活。妻とは3ヶ月前に離婚。友人に借金してなんとか生活していたが蓄えがなくなり、今日たべる米がなくなると相談に来所した。

# 5分間ゲーム！！

- ① チームに1枚 ワークシートを配布します。
- ② 記録係を決めます。
- ③ 「ブレインストーミング」で、Bさんのストレングスを探してください。

## <ブレスト4原則>

1. 自由奔放(自由に)
2. 多数歓迎(たくさん)
3. 便乗発展(便乗OK)
4. 批判厳禁(批判しない)

## 5. 「支援を育てる」事例の確認と共有 ～後期の事前課題をふまえて～

### <事例の共有>

- (1) 後期研修の事前課題を準備してください。
- (2) ご自身が準備された「〇〇さんの事例」の概要と、今回その事例を提出されたあなたの想いを、メンバーに語ってください。
- (3) 報告は、お一人3分間でお願いします。
- (4) メンバーは、報告者の話を傾聴してください。



## 5. 「支援を育てる」事例の確認と共有 ～後期の事前課題をふまえて～

<1. 事例の整理> ※資料2を使用

①「支援検討シート」1の欄に、ご本人の  
家族・社会関係図を書いてみましょう。

②つながりの強弱や状況を、線の太さ  
や種類で表現してください。

つながりの強弱→ 

つながりの状況→ 

葛藤あり

# 支援検討シート

資料2

<1. 葉山 三太 さんの家族・社会関係図>

氏名 新保 美香

<社会関係>

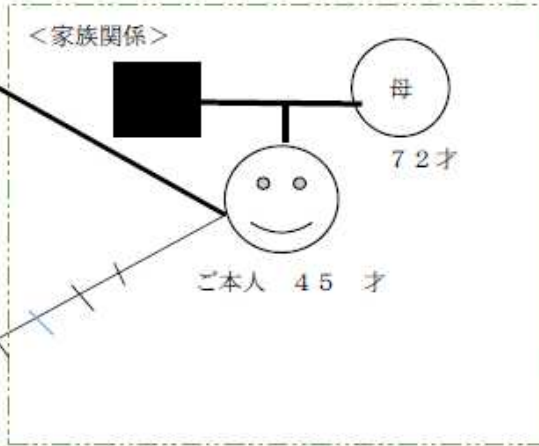
(関係機関などフォーマルなつながり)



(友人・近隣などインフォーマルなつながり)



<家族関係>



## 5. 「支援を育てる」事例の確認と共有 ～後期の提出課題をふまえて～

### <2. 支援を検討する> ※資料2を使用

- ①「支援検討シート」 2の  
「支援者としての取り組みの目標と  
課題」欄に記入してください。
- ②「目標」「課題」、ご本人とご自身の  
「ストレングス」を記入します。

## 本講義（演習）のおわりに...

<「支援を育てるシート」について>

- ①研修の合間と一日の終わりに、資料3の「支援を育てるシート」に気づいたことやこれから取り組みたいことを記入してください。
- ②3日間の研修を通じて、みなさまの大切な支援対象者〇〇さんの支援を育てていきましょう！